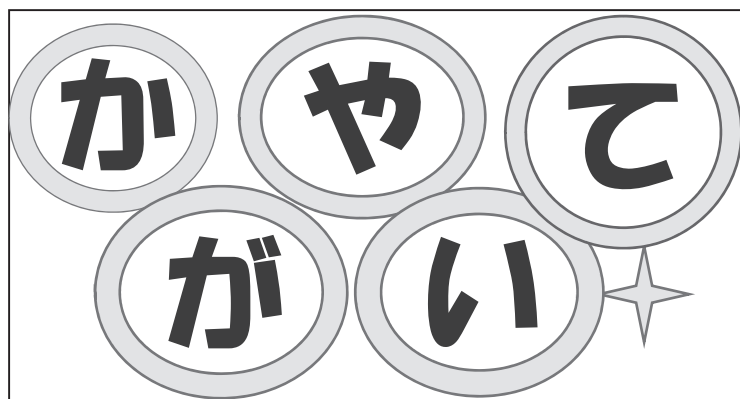




神奈川高齢者生協機関紙 2019年7月号 NO.186

発行責任者 吉田 隆幸

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

E メール kanagawa-coop@koureikyou-k.com

神奈川高齢者生協

検索

第14回通常総代会を開催しました



理事長あいさつ (要旨)

神奈川高齢者生協理事長 吉田 隆幸

今年のあいさつは2018年度経営結果についてのお話をさせていただきます。2018年度の経常剰余高の目標は長年続いていた赤字の状態から脱却することが最大目標でした。赤字にしないという目標に対して本部職員、事業所職員が一体となって努力をし、皆さんのおかげで達成することができました。そのことに対して厚く御礼を申し上げます。

当生協はここ数年赤字経営が続いていたわけですが、毎年のように、何とか利用高をあげよう、あるいは効率をはかろうなど、いろいろなことを一生懸命考えてきました。しかし実際には利用高をあげるために仕事を受けようとしても、人手不足の中でやる人がいない状況を変えられず、これをどう解決していけばいいのかわからない状態でした。昨年は、それを現場と本部が一体となって非常勤職員を集めるためには、どうしたらいいのかわからない状態でした。非常勤職員を採用を含めて検討するなどをすすめて、実に24名の介護職員に入職してもらうことができました。そういうことによつて売上げや、効率が改善したのだと思います。皆さんの努力のおかげで、剰余予算が達成できたと思っております。2019年度もこれらの形を持続していき、さらに発展をさせていこうと考えています。経営構造を変えて、収支0の状態から確実に剰余が生み出せる状態に変化させていかなければならないと考えております。

我々神奈川高齢者生協にとつて大切なことは、国でも進めている地域包括ケアを実践することではないかと思っております。高齢者・障がい者・児童などが、自分の家を中心にして安心して住み続けられる地域にしていけることを、一番大切にしていきたいと考えております。2019年度は私たちの事業所のところから地域活動をスタートさせています。これを全地域で進め、介護事業だけでなく、ボランティア活動などとあわせて地域包括ケアをすすめていきます。こういうことで今年も事業所職員、本部職員が一丸となつてこれらを発展させることができるように頑張っていきたいと思っております。

議 案 の 概 要

第 1 号議案 2018 年度事業報告

・及び決算関係書類承認の件

経常剰余金、黒字化の目標を達成しました。
(ただし、年度末税務処理等により、当期損失 16 万円と
なっています。) 当期損失金を「福祉事業積立金」を取り
崩し、次期繰越損失金を 0 とします。

組合員活動や出資金を増やす取り組みは不十分でした。

第 2 号議案 2019 年度事業計画・及び予算決定の件

すべての事業所が予算を達成させて、黒字化します。
生協全体で 200 万円の経常剰余を確保します。

第 3 号議案 2025 年ビジョン改定の件

「2025 年ビジョン」を現状の経営状況に則して、
事業継続を可能にし、見通しの持てるビジョンに改定
します。

2025 年到達目標 (1) 組合員数 4000 人、出資金 4500
万円 (2) 既存事業所のある 7 自治体とその隣接自治体に
事業所開設 (3) 利用高 6 億円

第 4 号議案 第二次中期 3 ケ年計画決定の件

3 ケ年の重点課題

- ①「事業と活動」を継続し、地域包括ケアを担い続けることができる経営構造の基礎づくり
- ②「自分らしい在宅生活を最期まで支援」できる事業所づくり
- ③「働きやすく」「やりがいのある」職場づくりと「働き方改革」
- ④福祉事業を担っている生協らしい「組合員活動」の構築
- ⑤最優先課題として、全訪問事業所が「特定事業所加算」、全通所事業所が「口腔機能向上加算」取得を

第 5 号議案 役員報酬決定の件

2019 年度役員報酬の総額(限度額)を 720 万円(理事 15 名分)、30 万円(監事 3 名分)とします。

第 6 号議案 議案決議効力発生の件

2018年度事業別実績及び収支 (単位千円)			
	2018実績	2018予算	予算比
事業収入合計	471,772	481,808	97.9

事業経費合計	424,788	433,396	98.0
一般管理費	47,676	48,018	99.3
福祉事業剰余金	-692	394	-
事業外収支	2,212		
経常剰余金	1,520		
税引き前当期剰余金	1,882		
法人税等	344		
法人税等調整額	1700		
当期損失金	162		

2019年度予算の概要 (単位 千円)			
	2019予算	2018実績	前年比
事業収入合計	490,577	471,771	104.0
事業経費計	439,707	424,788	103.5
一般管理費	48,987	47,676	102.7
福祉事業総剰余金	1,883	△ 692	
事業外収入	300	2,212	
経常剰余	2,183	1,520	

採 決 状 況

すべての議案が賛成多数で可決されました。

	反対	保留	棄権	賛成	可否
第 1 号	0	10	1	多数	可決
第 2 号	0	10	1	多数	可決
第 3 号	0	11	1	多数	可決
第 4 号	0	10	1	多数	可決
第 5 号	0	11	1	多数	可決
第 6 号	0	10	1	多数	可決



ご来賓から頂いたご挨拶 (要旨)



日本高齢者生協連合会副会長
東京高齢協理事長 田尻 孝二氏

先日、「部内報」を拝見したのですが、現場が一体となつて、目標をもつて頑張っている様子がひしひしと伝わってまいりました。東京も神奈川に負けないように、頑張らなければと思っております。

今、高齢者生協連合会には22の生協が加盟していますが、首都圏の高齢者生協では、介護の中心事業は訪問介護事業です。厚労省発表の統計を見ると、介護保険の事業高は上がり続け、訪問介護事業も上がり続けています。その中で私たちが基幹として訪問介護事業を伸ばせないとしたら、やはり自分たちに克服するべき点があるのではないかと考えています。神奈川が黒字転換したということは、私たちの一番の学習材料ですので、いろいろ拝見させていただきました。その中で「働き方、事業所の作り方が一番大切なんだ」ということを、改めて感じさせていただきました。現場の皆さんが、いかに働きやすい環境をどう作るかということだと思います。

東京の場合、上手な世代交代がなかなかできなかったために、今、苦勞をしていると身にしみています。そういう意味では、神奈川の経験は私たちにとつて、お手本にすべき内容を含んでいるわけです。

もともと生協というのは、地域と密接に関わっている事業体です。東京高齢協の場合は、地域活動が盛んに頑張っている組合員さんがいっぱいいます。神奈川も地域の組合員ががんばっている活動もあります。ただ残念なことに、お互いに地域の組合員の力を、せっかくのお宝なのに、事業に生かし切れていないのではと思います。そういったことを踏まえ、色々な工夫をし協力をして、共に事業を発展させ、組合員のためになる生協を作るために一緒にがんばろうと思います。



神奈川県生協連合会事務局長
相田 祐二氏

第14回通常総代会おめでとうございます。今年は「おめでとう」の重みが違うと感じました。昨日、過去の高齢者生協さんの資料を拝見しておりましたら、15年、16年、17年と3期連続で赤字になっていたという状況でございました。昨年は、医療報酬と介護報酬のダブル改定の年でもありました。そんな中で黒字化転換というのは、本当に意味があり、皆さんの並々ならぬ努力が結果として出たのではないかと思います。

当日資料を先ほど拝見していました。「たむら通所事業所」で、「生協10の基本ケア」の取り組みが紹介されておりましたが、神奈川県生協連でも生協らしい福祉事業をすすめていくには、「生協10の基本ケア」が大切なんだと呼びかけているのですが、2年、3年継続してやっていないながらも、徹底できていないという、とてもむずかしい課題でもあります。そういう課題に積極的にチャレンジをされているというのが、今の高齢者生協さんなのかなという風に感じました。

神奈川県生協連の2019年度は、多くの会員生協が協同できる「健康づくり」と「平和」の取り組みを、2つの柱として位置づけています。平和の取り組みでは、ヒバクシャ国際署名が941万5025筆になりました。被爆者の思いを受け会員生協の皆さんと一緒に署名活動に取り組んで行く2019年度の計画をもっております。皆さんと一緒に平和の取り組みを進めていきたいと思います。

第14回通常総代会の発言（要旨）

川崎中部ヘルパーステーションの

取り組み

川崎南地区総代 多田 雅美さん



渡邊所長に代わり、前職の経験や他の事業所の良いところを取り入れる等して、業務を見直し、効率良く業務ができるようになりました。2018年は、川崎中部が大きく変わった年だったと思います。中でも「効率良く」というのが一つのテーマでした。大きな成果としては、実績に関しては、手書きと修正による繰り返しとの照合など、手間と時間が掛かっていましたが、ソフトの活用により、見た目も綺麗で分かりやすく、大幅に時間を短縮することができました。新規依頼は、やみくもな営業でなく、現在の利用者の方々と大切に、親身に取り組み、ケアマネさんと密に報告や連絡を取り合うことで信頼を得て、新規依頼のお話をいただいています。常勤3人のグループ「E」で情報の共有化すると共に、事務所内での作業も「報、連、相」を心掛け、情報の共有に務めています。一番大事なのは一緒に働く人を信じ、協力することによって楽しく仕事ができて、モチベーションが継続できるんだと思います。

デイあやとりの取り組み

相模原地区総代 矢嶋 典子さん



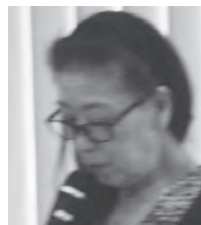
デイあやとりは2013年に開所し、利用高がなかなか伸びずに赤字が続いていました。私は下半期から所長を引き継ぎましたが、新しい居宅介護支援事業所の開拓、開所の周年を迎えての全居宅介護支援事業所への挨拶回りを実施しました。

その結果少しづつではありますが、利用者の方を増やすことができた。黒字化を実現しました。デイあやとりは、週2回、週3回の利用者の方が多く、また、認知機能が低下していく方が多い傾向です。こういった利用者の方は、施設が見つかるまでと直ぐに入居が決まり、利用者の方の入れ替わりが多いのが特徴です。その対策として、今年度は、包括センターとの連絡を密にしたり、ショートステイの対策をしたり、スタッフの基本的な介護技術向上の3つを実施して行こうと考えています。

ケアステーションいさと通所介護事業所の

取り組み

伊勢原地区総代 菅原 恵さん



当事業所は、2018年度6月に利用者稼働率52.8%と危機的状況となり、赤字に転落しましたが、3月には64%までに回復することができました。利用者の方の健康・生活情報などを中心にケアマネジャーや医療機関等との連携を重視することで、信頼関係を構築し、利用が減ってもすぐに新規利用や利用回数増の依頼につながり、利用者稼働率アップにつながってきました。また感染症予防の徹底により、今年大流行したインフルエンザの発生もなかったことも、稼働率が下がらなかった要因となっています。

また、「パワリハとレクのいさと」から「機能訓練のできるいさと」を目指し、相談員が中心となり、居宅介護支援事業所にアピールできる個別機能訓練に切り替えることができました。プログラムの変更やレクの時間を機能訓練の時間に変更するなど、より生活リハビリが進められるようにしました。本年度は、理学療法士監修の個別機能訓練支援システムを導入し、よりサービスの質を高めていきたいです。「ご要望に確実に対応できるいさと」をPRしていきたいと思っています。

第14回通常総代会の発言（要旨）



平塚地区「楽しいつどい」の開催
平塚地区総代 玉腰 素子さん

平塚地区では、生協強化月間中の二月24日に組合員の「楽しいつどい」を開催しました。2部構成で、一部は懐かしい映画会として、『慕情』を上映、100人弱の方々に鑑賞して頂き、大変好評でした。

2部は組合員の作品展と手作り品販売、バザーを開催しました。作品展には油彩画、水彩、絵手紙、野鳥の写真、ぬいぐるみや吊るし雛、あみかご、手提げ等々が華やかに展示されました。

手作り品の販売は、声の掛け合いで値引きもあつて大好評でした。毎回イベントの際、好評の地元農家の方の「野菜や果物」は瞬く間に完売しました。

作品や手作り品の出品のお願いには、地域や組合員への案内チラシのほか、実行委員が個別にお誘いの声掛けをして、参加の輪が広がりました。

そして、今秋は11月16日に開所15周年記念事業を兼ね「楽しいつどい」を実施することを、5月20日の第1回実行委員会で決めました。地域に支持される施設を目指して、「地域のお祭り」の様な雰囲気となるよう模擬店も取り入れ、地域の支えあいグループもお誘いして、利用者の方と組合員で盛り上げられるよう、実行委員会で作り上げていきたいと思っています。組合員と職員の「協働の場」にもなるようにと考えています。



「生協10の基本ケア」に
対する取り組みと課題
平塚地区総代 綿貫 研志さん

ケアステーションたむらは、地域密着型通所介護事業所に移行しました。より地域に密着した通所介護をめざし、地域の利用者、組合員の皆様の介護予防・重度化防止を目標に「生協10の基本ケア」を軸に事業所運営を始めました。「生協10の基本ケア」は、「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅を支援」を実現するための、基本になるケアのことです。

①換気をする②床に足を着けて座る③トイレに座る④あたたかい食事をする⑤家庭浴に入る⑥座って会話をする⑦町内会にお出かけをする⑧夢中になれることをする⑨ケア会議をする⑩ターミナルケアをする。当たり前のような中身ばかりですが、ケアをする上で重要になる基本です。「換気」は、新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症や病気を予防します。「床に足を着けて座る」では、利用者の方々の足の長さに合わせてテーブルとイスを用意しました。日常生活がリハビリという考えで、自分の足で立上ることを重視しているためです。「トイレに座る」では、できる限りトイレで排泄することを基本に、「尊厳」を大切にしていきます。「あたたかい食事」では、手作りの食事を提供し、食事が楽しくなるようにすすめます。「町内会にお出かけする」では、現在、組合員の方々の協力で、「楽しい集い」を開催し、利用者の方々も参加しています。さらに地域の皆様にも協力を得て、他にもイベント開催なども考えています。社会性や精神的なつながりが保たれることをめざします。たむらで過ごすこと自体がリハビリとなるように、ケアの中身を変え、利用者の方の介護予防・重度化防止につながる取り組みができるように、さらに工夫をしていきます。

☆新入職員紹介☆



川崎中部ヘルパーステーション

サービス提供責任者

野田 恵さん

川崎中部ヘルパーステーション、サービス提供責任者の野田です。介護の仕事を始めて8年になります。知らないことがたくさんあり、日々、勉強だと思い、頑張っていると思います。川崎中部は家庭的な感じでとても良い雰囲気の仕事所です。一日でも早く必要な人材になれるように、結果を出していけたらと思います。よろしくお願いします。



ケアステーションたむら

サービス提供責任者

北島 大さん

はじめまして。ケアステーションたむら、サービス提供責任者の北島です。先日行かせて頂いた精神障がい者の研修で、「POSからHOSへ」という話がありました。Pはプロブレム（問題）で、Hはホープ（希望）です。問題や課題を解決するという視点から、希望をかなえるという方向にシフトしていると感じました。私自身もそんな希望を支える支援を目標に、日々励みたいと思っています。趣味は山登り・トレッキングです。平塚からは丹沢や箱根のアクセスがよく、介護で出会った仲間と楽しくお酒を飲むことを目的に、時間をみつけてはちよくちよく出かけています。自然の好きな方、お酒好きの方、ぜひ一緒にいかがですか？！高齢者生協・組合員の皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年も「ヒバクシャ国際署名」に取り組めます！！

「生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい」の思いから、平均年齢80歳を超えた被爆者の方々が呼びかけ、この国際署名が始まりました。

この署名は、2020年を期限とし、NPT（核兵器の不拡散に関する条約）再検討会議に毎年届けます。

この呼びかけに応じて、神奈川高齢者生協でも「ヒバクシャ国際署名」に取り組めます。詳細は以下の通りです。是非、皆さんの周りのご賛同いただける方に署名の呼びかけをお願いします。

○取り組み期間

2019年7月20日～9月20日

○取り組み方法

今号のかがやいてに署名用紙を織り込んでいます。この署名用紙をご活用下さい。不足する場合はコピーしてご利用下さい。集まった署名用紙は9/20までに、お近くの事業所又は本部までお届けください。

クロスワード

1	2			3		4	5
6			7		8		
	9				10		
11				12			
		13	14			15	
16	17		18			19	20
	21				22		
			23				

ヨコのカギ

- 1 弥生時代の次は〇〇〇時代。
- 4 情に〇〇させば流される。
- 6 日本の国鳥。
- 7 湯舟に入る前にすること。
- 9 春はこの花を見ながら酒を飲みます。
- 10 土用の丑の日に食べます。
- 11 浮世絵は木のこれで刷り上げます。
- 12 雨上がりに架かる橋。
- 13 学期末に学校から渡される恐怖の紙。
- 16 「腰かけ」とも呼びます。
- 18 うどん、そば、スパゲティ。
- 19 「ぎょく」ともいいます。
- 21 笑うとほっぺにでます。
- 22 落語家が蕎麦を食べる箸で使う小道具。
- 23 剣道の武器。

け	つ	い		こ	み	つ	く
ん		の	し	い	か		わ
こ	う	ち	ん		た	じ	
う	り		と	か		ゆ	だ
	き	い		み	せ	う	り
こ	れ	く	し	よ	ん		あ
		ぶ	か		し	め	
し	け	ん		か	ゆ	い	

今月は雑多諸々？さあ挑戦!!

言葉を全部うめて下さい。

締め切りは8月10日（当日消印有効）

解答を、葉書かFAXで本部まで（045-662-9662）お送り下さい。

お便りや趣味の作品の投稿、短信も合わせてお寄せ下さい。かがやいてに掲載させていただきます。

正解者には抽選で、5名様にクオカードを差し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------|----------------------|--------|-----------------|----------|-----------|---------|---------------|--------|-------------|---|-------|
| 20 | 17 | 15 | 14 | 12 | 11 | 8 | 7 | 5 | 3 | 2 | 1 | タテのカギ |
| 杉の〇〇に入れた酒はうまい。 | お灸を〇〇〇。 | イノシシの肉はこの花の名前で呼ばれます。 | 数の子の親。 | 医師や看護師のトレードマーク。 | 無人のはんたい。 | 卵や貝にあります。 | ライスボール。 | ここから生まれたかぐや姫。 | 日本一の山。 | 数え歳七十歳のお祝い。 | | |

クロスワードの作品募集!

クロスワード以外の「頭の体操」的なものなら何でもOK!!です。

かがやいてに掲載させて頂いた方には、粗品ですが、お礼を差し上げます。

4月号の答

たくさんの方からお送り頂き、ありがとうございます。

抽選で5名様にクオカードをお送りいたしました。

理事会たより



2019年度第1回理事会 6月16日15時55分～16時00分 会場:神奈川中小企業センター

議決事項

理事長・専務理事・常任理事の選任、代表理事の選任、顧問の選任について、下記のように決定しました。(敬称略させて頂きました)

理事長 星野 宗吾・代表理事

顧問 梅原健次郎

専務理事 矢吹 美樹・代表理事

桑原 龍太

常任理事 吉田 隆幸、岡田 伸男、岩田由美子

山岸 道子

理事

石井 吉弘

石橋 智美

小池 一成

齋藤 知子

鈴木 重光

西山 直子

乗松 美子

三澤 正弘

山口 朋子

山森 靖



星野宗吾新理事長 就任あいさつ

この度は大変な役をおおせつかりました。吉田さんは6年間に渡って、困難な時期に理事長としての仕事を果たされて、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。吉田さんとは年齢が同じで、世代交代とはいかないのですが、生協の理念をしっかりと頭に置きながら皆様と一緒に維持・発展のために尽くしていきたいと思っています。幸い2018年度は良い結果が出ましたので、これをまた元に戻すことなくますます発展できるように皆様方と力を合わせてやっていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



経営報告 2019年度5月の経営結果

組合員数 5月末組合員数 3,086名

4～5月累計加入数 54名、同脱退数 26名。累計計画 40名に対し 28名の実増。

出資金額 5月末出資金額 3,541万円

4～5月累計増資額 94万円、同減資額 9万円。累計計画 77万円に対し 86万円の実績。

出資金の累計増額は、昨年度実績 59万円と比較しても大きく伸びています。引き続き、出資金の増資にご協力をお願い致します。

利用高 5月 4,256万円 予算比 102.4% 前年比 105.8%

4～5月実績 8,420万円 予算比 104% 前年比 107.6%

経常剰余 5月 20万円 予算差 10万円

4～5月実績 150万円 予算差 226万円